

会報

日本食品化学学会 2020 年度第 1 回理事会議事録

- 日 時： 2020 年 3 月 18 日 (水) 13:00 ~ 16:00
- 場 所： 大阪ガーデンパレス 2 階 松 (大阪市淀川区西宮原 1-3-35)
- 出 席： 小関 良宏、合田 幸広、穂山 浩、井上 健夫、小川 久美子、日下部 哲也、佐藤 恭子、矢野 竹男、鰐淵 英機、
伊藤 美千穂、尾崎 麻子
(理事 9 名、監事 2 名)
- 欠 席： 井之上 浩一、奥村 克純、金谷 重彦、辻村 英雄、中江 大、松浦 寿喜、良永 裕子
(理事 7 名：委任状 7 通／議長)

【議 案】

1. 第 13 期評議員選挙開票および候補者の推薦 (総会提出議案)
2. 2020 年度 第 26 回総会・学術大会について
3. 2019 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成 (総会提出議案)
4. 2020 年度 事業計画書案および収支予算書案の作成 (総会提出議案)
5. 第 22 回 奨励賞受賞者の決定
6. 第 15 回 論文賞受賞者の決定
7. 日食化誌の予定と進捗の報告
8. 2020-2021 年度編集委員の承認
9. 名誉会員の推薦 (総会提出議案)
10. 評議員会提出議案について
11. 2021 年度シンポジウム専門担当理事の選任
12. 次々期 (2022 年度) 学会長の総会への推薦 (総会提出議案)
13. その他 (その他の総会提出議案、本会の運営に関すること)

1. 第13期評議員選挙開票および候補者の推薦（総会提出議案）

総投票数：151票、次の個人会員25名を評議員候補者として総会に提出することとなった。

(50音順・敬称略)

氏名	所属
秋場 高司	アサヒグループ食品株式会社
一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター
伊藤 澄夫	富永貿易株式会社
伊藤 裕才	共立女子大学 家政学部
稲熊 隆博	信州大学 農学部
片山 茂	信州大学 農学部
川原 信夫	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター
魏 民	大阪市立大学大学院 医学研究科
橘田 和美	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門
柴田 敏行	三重大学 大学院生物資源学研究科
杉本 直樹	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
多田 敦子	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
辻井 隆幸	フジパングループ本社株式会社
堤 智昭	国立医薬品食品衛生研究所 食品部
東田 千尋	富山大学 和漢医薬学総合研究所 神経機能学分野
徳楽 清孝	室蘭工業大学大学院 工学研究科
鳥羽 真由子	サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社
長岡 寛明	長崎国際大学 薬学部
中村 宗一郎	信州大学
増田 修一	静岡県立大学 食物栄養科学部
三宅 義明	愛知淑徳大学 健康医療科学部
宮下 隆	キューピー株式会社
六鹿 元雄	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
義澤 克彦	武庫川女子大学 生活環境学部
義平 邦周	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社

2. 2020年度第26回総会・学術大会について

事務局より第26回総会・学術大会の内容及び準備状況について説明があった。

(1) 第26回総会・学術大会の開催

学 会 長： 金谷 重彦（奈良先端科学技術大学院大学先端科学研究科教授）

日 時： 2020年5月28日（木）～5月29日（金）

場 所： 奈良春日野国際フォーラム別館（奈良県奈良市春日野町101）

学会長講演： 「食データサイエンス」

金谷 重彦（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授）

招待講演①： 「作物種のメタボロミクス研究と食の評価について」

峠 隆之（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授）

招待講演②：「新解釈 食と農業」

松田 一彦(近畿大学 農学部応用生命化学科 教授)

特別講演：「未定」

交渉中(厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課)

奨励賞受賞者講演

一般発表：口頭およびポスター(演題募集)

関連行事：①若手優秀発表賞、②交流会(5/28)、

③企業展示(募集中)、④ランチョンセミナー(2社受付済)

参加費：学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

交流会(予定) 事前申込 6,000 円、当日申込 8,000 円、学生 2,000 円

(2) 第26回総会・学術大会実行委員(20名)の承認

学術大会運営の為、下記名の実行委員の推薦があり、承認された。

金谷 重彦(大会長)(奈良先端科学技術大学院大学)

荒井 泰成(実行委員長)(三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)

松田 一彦(近畿大学)

井之上 浩一(立命館大学)

木村 慎太郎(日本食品分析センター)

秋場 高司(アサヒグループ食品株式会社)

本村 陽介(株式会社ウエノフードテクノ)

指宿 大悟(サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社)

瀧川 義澄(アジレント・テクノロジー株式会社)

金城 輝則(アジレント・テクノロジー株式会社)

古庄 義明(ジーエルサイエンス株式会社)

植田 泰輔(シグマアルドリッチジャパン合同会社)

四柳 雄一(株式会社島津製作所)

原田 修一(林純薬工業株式会社)

水井 浩司(富士フィルム和光純薬工業株式会社)

今立 恵美(株式会社食品化学新聞社)

清水 亮輔(日本食品添加物協会)

羽田 三奈子(アナリティクセンス株式会社)

中川 誠(三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)

須子 慎一郎(三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)

3. 2019年度事業報告書案および決算報告書案の作成(総会提出議案)

下記の内容で総会への提出が承認された。

3-1. 事業報告書案

(1) 第25回総会・学術大会の記録

学 会 長：中村 宗一郎(信州大学 理事・副学長)

日 時：2019年6月6日(木)～6月7日(金)

場 所：キッセイ文化ホール(長野県松本市水汲 69-2)

学会長講演：「食と健康」

中村 宗一郎(信州大学 理事・副学長)

招待講演(1)：「味噌中の短鎖ペプチドの構造と機能」

佐藤 健司(京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻海洋生物生産学講座 教授)

白子 紗希(京都大学大学院農学研究科 博士課程後期)

招待講演(2)：「食品成分の腸管吸収動態」

松井 利郎(九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門食料化学工学講座 教授)

招待講演(3)：「運動+栄養摂取の相乗効果-その背景と効果のエビデンス-」

増木 静江(信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所先端疾患予防学部門 教授)

特別講演：「食品安全行政の最近の動向」

吉田 易範(厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課長)

奨励賞受賞者講演：

「トランスクリプトーム解析を利用した、食材の機能性と品質に関わる遺伝子群の探索」

田村 倫子(東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科 准教授)

「健康食品及びその素材の品質確保に関する研究」

増本 直子(国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 研究員)

一般発表：(口頭) 20 題、(ポスター) 53 題

参加者数：250 名

(内訳：会員 132 名、非会員 48、学生 26、招待・来賓 18、実行委員 26)

関連行事：① 評議員会 (6/6)・編集委員会 (6/7)

② 若手優秀発表賞

・口頭発表部門

A-7 「DART-MS を用いた食品用ポリアミド製品の簡易材質判別法」

阿部 裕 (国立医薬品食品衛生研究所)

A-10 「固相抽出を用いた海藻中の無機ヒ素および有機ヒ素の分析法開発」

殿岡 真梨子 (日本食品分析センター)

・ポスター発表部門

B-6 「タンパク質ゲルに架橋導入するオリーブ葉由来フェノール化合物」

赤澤 隆志 (香川大学 農学部)

B-10 「植物エキスライブラリーの構築とその食薬区分情報について」

河上 仁美 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

B-20 「カテキン類の一斉分析を目指したシングルリファレンス HPLC 定量法の開発」

高橋 未来 (立命館大学大学院)

③ 交流会 (6月6日 18:30 ~、参加者数 132 名) (ホテルブエナビスタ)

④ ランチョンセミナー 2 件

⑤ 企業展示 18 件

参加費：学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

交流会 事前申込 7,000 円、当日申込 9,000 円、学生 3,000 円

(2) ifia JAPAN 2019 食の安全・科学フォーラム 第 18 回セミナー & 国際シンポジウムの開催

テーマ：食品安全規格の国際整合性と野菜の衛生管理

Global harmonization of food safety & hygiene management of vegetables

主催：日本食品化学学会、日本食品微生物学会、日本食品衛生学会

共催：ILSI、JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

日時：2019 年 5 月 22 日 (水) 10 時 00 分 ~ 16 時 50 分 (受付開始 9:30 分)

場所：東京ビッグサイト 青海展示会場内

演題及び講師：

第一部 食品の安全管理の国際動向

「台湾における食品安全政策」

陳 俊榮 (台北駐日経済文化代表処科学技術部部長 台北医科大学教授)

「対米・対 EU 輸出食肉認定制度について」

田中 鈴子 (厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課課長補佐)

「食品のリスク評価とその国際整合性」

川西 徹 (内閣府食品安全委員会委員)

第二部 野菜の衛生管理

「野菜の汚染実態と食中毒の防止」

森 哲也 (一般財団法人東京顕微鏡院食と環境の科学センター微生物検査部技術専門係長)

「殺菌に係わる近年指定された食品添加物」

久保田 浩樹 (国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部主任研究官)

「野菜の洗浄・殺菌の最新技術と次亜塩素酸の効果的な使用方法」

福崎 智司 (三重大学大学院生物資源学研究科教授)

「カット野菜の安全性と製造のポイント」

宮下 隆 (キューピー株式会社品質保証本部食品安全科学センター/センター長)

参加者：130 名

参加費：前売り一般全日 12,000 円、前売り一般半日 9,000 円、

前売り会員全日 9,000 円、前売り会員半日 6,000 円、

当日 15,000 円

(3) 第35回食品化学シンポジウムの開催

担当理事： 鰐渕 英機 (大阪市立大学大学院医学研究科)

テーマ： 食品のイノベーションとレギュレーションに関する諸課題について

日時： 2019年11月8日(金) 13:15-17:00

場所： 日本薬学会長井記念ホール (渋谷区渋谷 2-12-15)

講演(1) 食品の機能性追求に向けて～コーヒーは機能性食品と言えるか?～

ネスレ日本株式会社 ウエルネスコミュニケーション室 室長 福島洋一

講演(2) 機能性食品の安全性評価

大阪市立大学大学院 医学研究科 環境リスク評価学 准教授 魏 民

大阪市立大学大学院 医学研究科 分子病理学 教授 鰐渕英機

講演(3) 機能性食品の臨床研究活性化に向けて

大阪市立大学大学院 医学研究科 医薬品・食品効能評価学 教授 日下部哲也

講演(4) ゲノム編集技術応用食品の現状と課題

国立医薬品食品衛生研究所 毒性部長 北嶋 聡

国立医薬品食品衛生研究所 生化学部長 近藤一成

講演(5) 食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針

内閣府 食品安全委員会評価第一課 課長補佐 磯崎正季子

講演(6) 食品表示の現状と課題

消費者庁食品表示企画課長 五十嵐麻衣子

参加者数： 95名(会員48、非会員25、招待・報道9、主催者7名、講演者6名)

会費： 日本食品化学学会員/個人・法人会員 3,000円、非会員 5,000円、学生 無料

(4) 日本食品化学学会誌 第26巻の発行

第26巻1号の発行 発行日：2019年4月26日 発行部数：950部

論文5編 ノート3編 資料1編 総頁数：106頁

第26巻2号の発行 発行日：2019年8月28日 発行部数：950部

論文3編 ノート3編 総頁数：64頁

第26巻3号の発行 発行日：2019年12月27日 発行部数：950部

論文5編 ノート1編 総頁数：62頁

(5) 理事会及び各種委員会の開催

理事会：2回(書面理事会1回)、評議員会：1回、編集委員会：1回

(6) 会員数

2019年12月31日現在：個人会員565名、法人会員65法人、名誉会員15名

(7) 共催、協賛・後援

1) 他団体が主催で、本学会が共催となる学術集会

依頼なし

2) 本学会が主催で、他団体に共催を依頼する学術集会の場合

依頼なし

3) 他団体が主催で、本学会が協賛・後援となる学術集会の場合

<協賛> 第17回高付加価値食品開発のためのフォーラム(日本食品・機械研究会)

<後援> 第八回低温・氷温研究会(氷温研究会)

第2回日本食品衛生学会 北海道・東北ブロックセミナー(日本食品衛生学会)

4) 本学会が主催で、他団体に協賛・後援を依頼する学術集会の場合

依頼なし

3-2. 決算報告書案

2019年度決算報告書(案)

(2019年1月1日～2019年12月31日)

収 入			支 出		
	予算金額	決算金額		予算金額	決算金額
会費(個人)	1,965,000円	1,635,000円	学術雑誌発行費	3,500,000円	2,942,308円
会費(法人)	2,460,000円	2,550,000円	学術大会費	400,000円	393,468円
会費(賛助)	0円	0円	シボジウム費	200,000円	198,609円
投稿料	740,000円	840,000円	表彰費	380,000円	380,696円
広告料	1,000,000円	1,010,000円	会議費	250,000円	190,022円
雑収入	230,000円	274,255円	ホームページ運営費	160,000円	206,611円
			旅費・交通費	400,000円	402,960円
			賃借料	0円	0円
			印刷費	120,000円	44,635円
			郵送費	450,000円	461,427円
			振替手数料	80,000円	83,548円
			事務費	200,000円	127,550円
			予備費	30,000円	0円
(収 入)	(6,395,000円)	(6,309,255円)	(支 出)	(6,170,000円)	(5,431,834円)
前期繰越金	3,742,934円	3,742,934円	次期繰越金	3,967,934円	4,620,355円
合 計	10,137,934	10,052,189円	合 計	10,137,934円	10,052,189円

2020年2月28日

事務局長 井之上 浩一



.....

 会計監査報告

上記の決算書を承認するとともに、会則に従って適正に執行されたと認めます。

2020年3月9日

監 事 伊藤 美千穂



尾崎 麻子



4. 2020年度事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）

下記の内容で総会への提出が承認された。

4-1. 事業計画書案

(1) 第26回総会・学術大会の開催

学 会 長： 金谷 重彦（奈良先端科学技術大学院大学先端科学研究科教授）

日 時： 2020年5月28日（木）～5月29日（金）

場 所： 奈良春日野国際フォーラム別館（奈良県奈良市春日野町101）

学会長講演： 「食データサイエンス」

金谷 重彦（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授）

招待講演①： 「作物種のメタボロミクス研究と食の評価について」

峠 隆之（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授）

招待講演②： 「新解釈 食と農薬」

松田 一彦（近畿大学 農学部応用生命化学科 教授）

特 別 講 演： 「（未定）」

交渉中（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課）

奨励賞受賞者講演：

一 般 発 表： 口頭およびポスター（演題募集）

関 連 行 事： ①若手優秀発表賞、②交流会（5/28）、③企業展示、④ランチョンセミナー

参 加 費： 学術大会 会員 4,000円、非会員 6,000円、学生 1,000円

交流会（予定） 事前申込 6,000円、当日申込 8,000円、学生 2,000円

(2) ifia JAPAN 2020 食の安全・科学フォーラム 第19回セミナー & 国際シンポジウム

テ ー マ： 食品の輸出入拡大と穀物の衛生管理

Expansion of food imports and exports and grain sanitation management

主 催： 日本食品化学学会・日本食品微生物学会・日本食品衛生学会

共催（予定）： 日本食品衛生協会、食品産業センター、食品化学新聞社

協賛（予定）： 日本食品添加物協会、日本食品科学工学会、日本防菌防黴学会、日本調理科学会

日 時： 令和2年4月22日（水） 10時00分～16時50分（受付開始9時30分）

場 所： 東京ビッグサイト青海展示棟 B セミナー会場 201

定 員： 150名

演題及び講師：

第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性

「農林水産物・食品の輸出促進事業について（米と米粉を例にして）」

農林水産省政策統括官付 農産企画課 米穀貿易企画室 課長補佐 島本 健一 氏

「農林水産物の残留農薬対策と国際整合性」

厚生労働省医薬・生活衛生局 食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 井上 隆弘 氏

「食肉の輸出拡大に向けた取り組み（仮）」

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課 担当官

第二部 穀物の衛生管理

「穀物の有害金属・元素の検出法と国内外の規格基準」

国立医薬品食品衛生研究所 食品部第4室長 鈴木 美成 氏

「穀物の残留農薬検査手法における最新動向（仮）」

一般社団法人残留農薬研究所 試験事業部 坂 真智子 氏

「食物アレルギー表示（穀物を中心に）の現状」

国立医薬品食品衛生研究所 生化学部第3室長 安達 玲子 氏

「米国における穀物の原料事情」

アメリカ穀物協会 日本代表 浜本 哲郎 氏

(3) 第36回食品化学シンポジウムの開催

担当理事： 日下部理事
 テーマ： キーワード案／食品行政、機能性表示など
 日時： 2020年11月(予定)
 場所： (未定)
 定員： 150名程度
 会費： 会員3,000円、非会員5,000円(予定)

(4) 日本食品化学学会誌 第27巻の発刊

第27巻1号 2020年4月発刊予定
 第27巻2号 2020年8月発刊予定
 第27巻3号 2020年12月発刊予定

(5) 理事会および各種委員会の開催

理事会： 1回、 評議員会： 1回、 編集委員会： 1回

4-2. 収支予算書案

(2020年1月1日～2020年12月31日)

収 入			支 出		
項目	単価	予算金額	項目	数	予算金額
個人会員(565名)	¥3,000	¥1,695,000	学術雑誌発行費	3	¥3,500,000
個人会員(滞納分)	¥3,000	¥222,000	学術大会費	1	¥400,000
法人会員(65社80口)	¥30,000	¥2,400,000	シンポジウム費	1	¥200,000
法人会員(滞納分)	¥30,000	¥0	表彰費		¥280,000
賛助会員(0社)	¥30,000	¥0	会議費		¥250,000
投稿料		¥840,000	ホームページ費		¥210,000
広告料		¥1,010,000	旅費・交通費		¥400,000
雑収入		¥270,000	印刷費		¥170,000
			郵送費		¥550,000
			振替手数料		¥90,000
			事務費		¥400,000
			予備費		¥200,000
(収入)		¥6,437,000	(支出)		¥6,650,000
前期繰越		¥4,620,355	次期繰越金		¥4,407,355
合計		¥11,057,355	合計		¥11,057,355

5. 第22回奨励賞受賞者の決定

選考の結果、以下の1名に奨励賞を授与することが決定された。

- 候補者： 菊地 博之 (国立医薬品食品衛生研究所 食品部 主任研究官)
「食品中の残留農薬等の分析法開発に関する研究」

6. 第15回論文賞、(広告主)論文賞の決定

合田編集委員長より編集委員から推薦された候補について説明がなされ、選考の結果、第15回論文賞として、下記論文に授与することが決定された(学会誌掲載順)。

- 「Preparation of an allergen-specific immunomodulator by phosphorylation of a major buckwheat globulin allergen, Fag e 1, with diminished IgE response *via* Tfh cell activation」
Ahmad M.Al Athamneh, Supatta Chawalitpong, Yuta Suzuki, Daiki Yamaguchi, Soichiro Nakamura, Shigeru Katayama
Vol.26(2),91-98(2019)
- 「A simple and sensitive LC-MS/MS method for determining residues of the tranquilizer chlorpromazine in livestock products, seafood, and honey」
Hiroyuki Kikuchi, Takatoshi Sakai, Tomoko Okura, Satoru Nemoto, Hiroshi Akiyama
Vol.26(3),125-131(2019)

合田編集委員長より広告主論文賞について、株式会社島津製作所から申請があり、編集委員会からの候補について説明がなされ、下記論文に授与することが決定された。

- 「Concentration of neonicotinoid insecticides and their metabolites in Japanese bottled green-tea beverages and their safety evaluation」
Akiko Takamoto, Yoshinori Ikenaka, Mayu Sugimoto, Manami Iwano, Satoshi Fukushima, Takahiro Ichise, Shouta M.M.Nakayama, Keisuke Takahashi, Keisuke Kato, Hiroshi Ishibashi, Mayumi Ishizuka, Koji Arizono
Vol.26(1),17-27(2019)

7. 日食化誌の予定と進捗の報告

合田編集委員長より投稿および審査状況は順調であることが報告された。

8. 2020-2021 年度編集委員の承認

新任 1 名を含む 28 名が、2020-2021 年度の編集委員として承認された。

(50 音順・敬称略)

氏名	新任	所属
合田 幸広		国立医薬品食品衛生研究所副所長
穂山 浩		国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井 里枝		埼玉県衛生研究所化学検査室長
一色 賢司		一般財団法人日本食品分析センター学術顧問
岡 尚男		金城学院大学消費生活科学研究所客員研究員
小川 雅廣		香川大学農学部応用生物科学科教授
小関 良宏		東京農工大学工学部生命工学科教授
川原 信夫		医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センターセンター長
魏 民		大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授
橘田 和美		農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門食品分析研究領域 信頼性評価ユニット長
庄司 俊彦		農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門食品健康機能研究領域 食品機能評価ユニット
白杉 直子		神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻食環境学研究室教授
田口 貴章		国立医薬品食品衛生研究所食品部長
田中 卓二		岐阜市民病院病理診断科部長・病理診断研究センター長
辻村 英雄		サントリー食品インターナショナル株式会社取締役副社長
手島 玲子		岡山理科大学獣医学部教授
中江 大		東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科食品安全評価学研究室教授
西島 基弘		実践女子大学生生活科学部名誉教授
林 新茂		東京農工大農学部客員教授
増田 修一	○	静岡県立大学食品栄養科学部食品衛生学研究室教授
松藤 寛		日本大学生物資源科学部食品生命学科教授
水上 元		高知県立牧野植物園園長
三宅 義明		愛知淑徳大学健康医療科学部健康栄養学科教授
森川 敏生		近畿大学薬学総合研究所教授
矢野 竹男		三重大学大学院地域イノベーション学研究科教授
山崎 裕康		神戸学院大薬学部長
吉岡 靖雄		大阪大学微生物病研究所 BIKEN 次世代ワクチン協働研究所特任准教授
良永 裕子		麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科教授

9. 名誉会員の推薦（総会提出議案）

水上元氏を名誉会員として推薦することが決定された。

10. 評議員会提出議案について

議案として、以下の議案を提出することとなった。

- (1) 本会の会務・事業などに関する意見など
- (2) 理事候補について

11. 2021 年度シンポジウム専門担当理事の選任

矢野理事が 2021 年度シンポジウム担当理事に選任された。

12. 次々期（2022 年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）

次次期学会長として、松藤寛氏（日本大学生物資源科学部）を理事会より推薦することが承認された。

13. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関すること等）

(1) 顧問の委嘱について

理事長より、一色賢司氏（再任）、今井田克己氏、山崎裕康氏が推薦され、承認された。

(2) 事務局住所の変更について（運営規定の改定）

学会事務局を、2020 年 3 月 31 日まで〒650-8586 神戸市中央区港島 1-1-3 神戸学院大学薬学部衛生化学研究室におき、2020 年 4 月 1 日より〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学薬学部・大学院薬学研究科臨床分析化学研究室におくことが承認された。

(3) 投稿規定の改正について

校正後、著者が誤りを訂正しようとする場合、あるいはやむをえず改版を要する場合には、その費用は著者負担とし、超過頁費（6,000 円／1 頁）扱いとすることが承認された。

以上